

こさい議会だより

# ぎかいのひろば

No. 201 9月定例会

令和4年10月31日発行

特集

市議会

湖西・新居  
観光協会

- 4 ● 9月定例会ではこんなことが決まりました
- 7 ● わたしたちのお金、何に使った？(令和3年度決算審査)
- 10 ● そこが聞きたい！！一般質問
- 15 ● 市議会「広報」に関する Web アンケート
- 16 ● あの質問、どうなったの？



※写真撮影の際だけ、マスクを外しています。

## 湖西・新居観光協会



### 特集

湖西市、新居町、それぞれの観光協会が統合し、令和4年4月に新たなスタートを切った湖西・新居観光協会。スタートから約半年を迎えた湖西・新居観光協会の設立理事の方々にお話を伺いました。

#### 三つの観光協会が合併し、新しい体制となった率直な感想は？

- 地域が広がり戸惑っていますが、それぞれ特色があります。両観光協会の特徴を生かし、合わせながら観光協会として自立を目指していきたいです。
- 湖西市の観光の高いポテンシャルを活かし、情報の集積、発信といったハブ機能としての役割を担っていきたいです。

#### 観光施策において大変なこと、苦慮していることは？

- 補助金頼みの財源になってしまっており、余裕をもった運営やサポートが難しいことです。
- 自主財源の確保に向けて、協会を育てていかなければならないことです。
- コロナ禍において正常な活動が難しい状況ですが、先進地域の視察を行うなど参考にしたいです。



▲大知波峠廃寺跡



▲早朝の白須賀海岸



▲遠州新居手筒花火

## 湖西市の魅力は？～情報発信について～

- 湖西市には山も海もあり、ナンバーワンになり得る素材が沢山あります。その魅力を掘り起こしてメディアやSNSを上手に使った情報発信をしていきたいです。
- 観光で一番先に目に留まるのがビジュアル(映像や画像など)です。湖西市は素晴らしい景観に満ちあふれています。写真がデジタルに変わり、SNS、VRの時代になりました。来訪時期やニーズを研究しながら、行ってみたい、また来たいと思ってもらえるビジュアルの発信をしていきたいです。



## 市民に伝えたいことは何ですか？

- 住んでいる市民が誇りに思えるまちになれば人は集まると思います。対外向けにだけでなく、市民への周知も含めて一体となる観光の仕組みづくりも必要だと考えています。



- 観光の中でも、祭りは地域の象徴であり、祭りを大切にできる地域は発展に繋がるはずですが、単なる行事としてではなく、大切に伝えられてきた地域の伝統文化として、観光協会としても紹介ができればと考えています。

## 市や議会に望むことは何ですか？

- 観光協会会員や地域の収益が上がれば協会の自立にも繋がっていくと思います。行政が何をし、観光協会が何をやるのか役割の調整と連携をお願いしたいです。
- 各種団体が抱えている悩みを議会で吸い上げて団体同士をコーディネートさせたり、意見交換の場を設けたり、行政には情報の発信をしてほしいです。

新たな観光協会としてスタートした役員のみなさんにお会いして、多くの課題や悩みを一つ一つ前向きに解決しながら、新しい時代の湖西市の観光のあるべき姿を積極的に模索している様子がよく分かりました。

観光協会と湖西市の観光の発展に活躍していただけるよう、応援していきたいと思えます。ありがとうございました。



▲海釣公園・海湖館

### ☆観光協会からのお知らせ

観光協会では湖西市の観光やイベント情報のほか、味覚、特産品など広く湖西市の魅力を紹介、PRしていきます。協会のホームページなど、ぜひご覧ください。また、内外へ紹介できる湖西市ならではの魅力なども募集していますので、情報提供をお願いします。



湖西・新居観光協会ホームページ <https://hamanako-kosai.jp/>

湖西・新居観光協会 ☎ 053-596-9255

## 9月定例会ではこんなことが決まりました

### 9月 定例会

— 会 期 —

8月29日

～

9月28日

条例の一部改正…………… 3件

補正予算…………… 5件

令和3年度決算…………… 7件

人事案件…………… 2件

意見書…………… 1件

合計 18件

この中から  
2つの質問を  
紹介します!!

## 人事案件

### 教育委員会委員

任期満了となる河合偵隆<sup>かわいよしたか</sup>氏の後任として、菅沼泰久<sup>すがぬまやすひさ</sup>氏(新所)を選任することに同意した。

### 人権擁護委員

辞任する清水<sup>しみず</sup>まさる<sup>まさる</sup>氏の後任として、落合<sup>おちあい</sup>すすむ<sup>すすむ</sup>氏(新居町浜名)を選任することに同意した。

## 長期優良住宅の普及促進に向けて手数料徴収条例の一部を改正

長期優良住宅の普及促進と住宅の円滑な取引環境の整備のため、長期優良住宅の普及の促進に関する法律などが改正されることに伴い、条例の条項の追加および認定に係る手数料を追加するもので、全員賛成により可決した。

問

長期優良住宅認定のメリットは。

答

住宅ローン減税、登録免許税、固定資産税、不動産取得税などの税制優遇、住宅ローンの金利の優遇、地震保険料の割引などのメリットがある。また、認定を受けた住宅は品質の証明になることから、不動産の取引がしやすくなる。

## 豪雨被害を受けた道路の復旧費用を増額

### ●土木災害復旧費 3,000万円

令和4年7月9～10日の豪雨により崩壊した市道鈴木自動車1号線の復旧のため、工事請負費を増額。



問

鈴木自動車1号線の完成からの経過年数・崩壊の原因と、復旧工事に盛り込む対策内容は。

答

完成からは12年が経過している。被害が集中した白須賀地区の状況から、市内で近年類を見ないレベルの豪雨であったと推測される。このゲリラ豪雨による想定を上回る雨水が一気に側溝へ流入し、排水不能となった側溝から雨水が溢れ路肩部から盛土法面に流出したことにより法面崩壊が生じ、側溝や歩道、車道などの道路施設が高さ約4m、延長約36.3mにわたり被災した。復旧工事は原形復旧を基本としつつ、昨今各地で発生している線状降水帯や今回のようなゲリラ豪雨にも対応するため、雨水の集中流入を防ぐためのバイパス側溝を整備し、雨水の分散を図る対策もあわせて実施する予定。

## 国に意見書を提出

「義務教育における特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書」の提出についてを全員賛成により可決した。

### (要約)

全国的に小中学校の特別支援学級在籍の児童生徒の増加傾向が顕著となっている。

在籍する児童生徒は、障害の程度や特性が多様であることに加え、一つの学級に小学校は1年生から6年生まで、中学校は1年生から3年生までが在籍していることから、学年差にも応じた指導が必要である。

特に、肢体不自由学級については、地震、大雨等の自然災害など、不測の事態が発生した場合に、8人全員の安全を確保しつつ、迅速な避難を行うことは非常に困難である。

このような状況を踏まえ、特別支援学級の児童生徒の十分な学びの環境を保障するためには、平成5年の第6次定数改善以降変更がない学級編制標準の早期改善が必要である。

よって、国においては、特別支援学級のさらなる少人数化に向けて、学級編制標準を速やかに改善するよう強く要請する。

あて先 ▶▶ 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

## 賛否が分かれた議案一覧

議案番号・議案名	結果	柴田 一雄	加藤 治司	滝本 幸夫	三上 元	福永 桂子	菅沼 淳	土屋 和幸	高柳 達弥	楠 浩幸	佐原 佳美	吉田 建二	加藤 弘己	竹内 祐子	荻野 利明	馬場 衛	中村 博行	神谷 里枝	二橋 益良
議案第52号 湖西市議会議員及び湖西市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	欠	○	○	○	-	○	○	○
議案第59号 令和3年度湖西市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○
議案第60号 令和3年度湖西市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	○	○	○

※「○」は賛成、「●」は反対、「欠」は欠席。 ※議長(馬場衛)は採決に加わらない。

### 本会議での討論(議案第60号)

#### ●反対

高すぎる国保税に全国で住民が悲鳴をあげ、滞納世帯は289万、全加入世帯の15%を超えている。無保険になったり、正規の保険証を取りあげられたりするなど、生活の困窮で医療機関の受診が遅れたために死亡した事例が後を絶たない。

高すぎる保険税を引き下げ、国保の構造的な問題を解決するには、公費を投入、国庫負担を増やすしかない。低所得者や家族が多い世帯に負担の大きい「均等割」「平等割」を廃止し、“逆進的な負担”をなくして所得に応じた保険税にすべきである。

#### ○賛成

国保税の税率改定において、静岡県国民健康保険運営方針に基づく賦課方式の統一に迅速に対応、資産割を廃止し、被保険者への周知を含め適切に課税業務を行っていることが確認できた。

保険税収納率は全体で88.39%で前年度より1.49ポイント向上し、県内23市中第3位という高い水準を維持しており、適切な賦課徴収業務に努めている。また、医療の高度化や疾病の重症化に伴い医療費が増加する傾向がみられ、国民健康保険および後期高齢者医療、介護保険の保健事業と介護予防が連携し、一体的に実施をすすめることで医療費の抑制に繋がることに努めていることも評価し、賛成する。

# わたしたちのお金、 何に使った？

令和 3 年度各会計決算を認定

**PICK UP!**

令和 3 年度各会計決算を以下の委員会に付託して審査を行った。

決算特別委員会

→ 一般会計

総務経済委員会

→ 国民健康保険・後期高齢者医療事業決算

福祉教育委員会

→ 介護保険・病院事業決算

建設環境委員会

→ 公共下水道・水道事業決算

## 令和 3 年度各会計決算

会計区分		決算額	
		歳入	歳出
一般会計		268億5,652万112円	250億3,823万8,681円
特別会計	国民健康保険事業	57億2,904万5,308円	54億880万2,583円
	介護保険事業	42億3,873万2,436円	39億9,955万4,903円
	後期高齢者医療事業	7億2,898万4,015円	7億950万6,887円
企業会計	公共下水道事業	収益的収入	収益的支出
		13億7,528万3,958円	13億1,890万9,173円
		資本的収入	資本的支出
		8億1,490万3,346円	12億7,808万9,288円
	水道事業	収益的収入	収益的支出
		12億8,273万610円	10億6,981万7,076円
		資本的収入	資本的支出
		3,752万2,240円	6億1,962万2,157円
	病院事業	収益的収入	収益的支出
		33億676万9,846円	30億6,897万749円
		資本的収入	資本的支出
		1億9,232万3,600円	2億6,207万2,711円

## ふるさと納税

**問** 全国的にはふるさと納税の納税額が増えている中で、前年度比減額の要因と対策は。

**答** 人気の高かった健康用品への寄付が大幅に減少し、その減少額が全体の減少額に近いものであった。主力返礼品であるウナギには、量より質をうたう「浜名湖ブランド」を推し進めた結果、多少ではあるが回復が見られた。今後は、減少傾向となった健康用品、増加が顕著である体験・宿泊のプラン、アウトドア関連品などの返礼品の開発に力を入れ、ウナギ一本頼みにならないような努力をしたいと考えている。

## 公共交通

**問** コーちゃんバス、コーちゃんタクシーの成果をどう評価しているか。

**答** これまでコーちゃんバスで行きの便はあるが、帰りの便がなかった、というような状況が、令和4年4月からのコーちゃんタクシー原則市内全域化により解消されることとなり、公共交通全体の利便性が向上したと考えている。

## 放課後児童クラブ

**問** 放課後児童クラブ数や延べ児童数が増えたが、その評価は。

**答** 鷺津小学校放課後元気クラブを適正な定員数である40人とするためにクラブを分割したことでクラブ数が増加した。それに加え小学校1年生で利用する児童が増えたことにより延べ児童数が増加した。鷺津小学校区は、令和3年度の1クラブ増設と令和4年度新規開設した1クラブにより待機児童はなくなり、事業の効果が出ているものと評価している。

## 火葬場

**問** 事務事業評価の効率性がC判定の市営火葬場について、統合に向けた取組の成果と課題は。

**答** 入出の市営火葬場は新居斎場への統合が方針決定されていることや、火葬業務委託に要する費用に対して使用数が少ないなど、事業効率の面からC判定とした。令和3年度は、新居斎場利用者や周辺地域住民の安心安全を図るために新設する新居斎場進入道路の事業用地を湖西市土地開発公社から買戻し取得したほか、進入道路整備に伴う流末排水路の計画を業務委託により作成し、工事着手に向けた準備を整えた。業務停止後の市営火葬場の土地に関する活用方針が未定のため、地域の意見を確認し検討することが課題である。



▲入出の市営火葬場

## 産業

**問** 職業訓練センターの訓練・講習会の実施状況はどうだったか。

**答** 新型コロナ拡大防止のため参加定員数を制限する中で、46コースの訓練・講習会などを実施、617人が受講した。受講した市内企業の従業員が習得した技能や知識を発揮し、各企業内で指導者となり後進の育成に当たっていると伺っており、今後も継続的な開催を希望するとの声をいただいている。また、高校生も職業訓練を受けており、短期技能向上過程修了者の検定合格率は100%、就職率は98%である。



## 農 林 業

**問** 森林保護整備事業費補助金の支出について、事業評価は。

**答** 白須賀地区約1,300㎡の森林において、放置竹林および巨木化した広葉樹林の伐採に係る費用200万2,000円、川尻地区約700㎡で、荒廃した広葉樹林の伐採に係る費用144万2,000円の事業に対し、事業費全額を補助している。本補助金の活用による放置竹林の解消、荒廃状況にある広葉樹林の再生などの整備を実施することで、今後、森林所有者などによる適切な管理により、健全な森林が維持されていくものと考ええる。

## 観 光

**問** 道の駅潮見坂の来場者数や売り上げの評価は。

**答** 来場者数は、平成28年度を最後に100万人を割り込み、令和3年度の来場者数は665,685人、売上也ピーク時の平成27年度では4億9千万円程度であったものが令和3年度には3億5千万円と約71%まで減少した。来場者数、売上の減少の大きな要因は、令和元年度の道の駅とよはしの開業であるが、現状を捉えた改革も急務だと考える。試行的なキッチンカー導入がある程度功を奏し、今年度に入り着実な売上の増加が見られている。今後も利用者の利便性が向上する取り組みを続け、特色ある道の駅の運営を事業者とともに進めていきたい。



▲道の駅

## 道 路

**問** 道路維持補修事業について、安全性を重視した道路標示で白線の修繕はどうであったか。

**答** 区画線や注意喚起標示などの道路標示は、道路パトロールや、通学路の合同点検結果、市民からの通報によるものなど、劣化状況を確認した上で、38路線、距離に換算すると約1万2,500mの修繕を実施した。全ての道路において安全を確保するためには、まだまだ手を入れなければならない部分もあると認識している。今後も道路標示の修繕も含め、道路施設全般において適切な安全管理に努めていきたい。

## 救 命

**問** 住民などによる心肺蘇生法実施率は。

**答** 令和3年度における心肺蘇生法の実施率は、42.6%（令和元年度、2年度は53%前後）であった。応急手当普及員講習や普通救命講習、応急手当教室などが、令和2年度以降、緊急事態宣言などにより、思うように実施できていないことに加え、感染リスクの回避からか、講習の依頼自体も減少傾向となっている。また、コロナ感染への懸念からか、家族以外への心肺蘇生をためらう方が増えたと推測され、それらの要因が実施率の低下に影響しているものと考えられる。

## 公共施設予約

**問** 公共施設予約システムの成果と課題は。

**答** 令和4年3月の1か月間での予約申込のうち、パソコン、スマートフォンで申し込んでいただいた割合は42.1%であったが、令和4年7月の1か月間では、64.7%となっている。予約システムの活用が徐々に浸透しているものと捉えてはいるが、まだ4割程度システム未利用者がいることから、公共施設の指定管理者とも連携をし、操作方法の個別講習の実施や周知の徹底を図り、システム利用を一層促進していくことが必要であると考えている。

そこが聞きたい!!

# 一般質問

一般質問は、議案と関係なく市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただし、あるいは報告・説明を求めるもので、定例会に限って行われます。

今9月定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。



湖西市議会公式サイト

▶▶▶ ウェブサイトで本会議の映像を見ることができます。

湖西市議会 再生リスト  
令和4年9月定例会

<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>



湖西市議会

▶ 本会議インターネット放送

▶ 本会議の放送はこちらから(YouTubeへ)



加藤 弘己 議員

## だれもが災害から身を守れる安全な地域づくりについて

**問** 近くの人が助け合う仕組みを作り、育成強化することが自治体の重要な役割であると思うが市の考えは。

**答** 近所や地域の方々がお互いに助け合うことができるよう平時からの備えが必要である。自主防災会や避難所運営連絡会など、地域において共助を担う組織を育成し支援していくことは自治体の責務であると考え、市職員および地域防災指導員による出前講座や自主防災会説明会などを通じて、継続して共助の重要性について周知に努めている。

**問** 住民が安心して暮らせるまちづくりに向けて、現在、市が準備を進めている計画の概要は。

**答** 湖西市津波防災地域づくり推進計画を令和4・5年度で策定する。地域の実情に応じた津波防災上の課題を抽出し、問題点を整理したうえで、それぞれの状況にあった、土地利用の在り方や、警戒避難体制の考え方について基本的な方針を定め、それらの方針を推進するための具体的な施策を定めていく。事業の時期、取組の主体、対象地域などを取りまとめていくような計画となる予定である。

## 令和4年度重点施策・津波防災対策について

**問** 県の「今切口防潮堤および海釣公園命山の工事」と市の「海釣公園防潮堤整備」との関連と事業計画は。

**答** 静岡県では既存堤防の嵩上げと命山の整備でどちらの工事でも令和6年度には完了する予定である。湖西市では本年度レベル2津波に対する津波シミュレーション結果や、施設整備効果を勘案した上で、防潮堤の詳細設計を行う。事業計画は、盛土構造を基本とする中、市および他施工の工事で発生した良質残土を受け入れるなど、県の工事とも連携しながら、市の工事も進めていく。

**問** ハザードマップの更新内容と作業の進捗状況は。

**答** 令和3年度の高師山地区津波避難タワーの完成をもって、津波避難施設空白域がすべて解消されたことから、平成26年3月以降に整備した命山や津波避難タワー（5カ所）に加え、追加指定された土砂災害警戒区域（68カ所）などの内容を追加する。令和4年5月に作成業者を決定し、現在、更新内容の調整を進めている。令和5年2月末までに全戸配布する予定である。



加藤 治司 議員

## 高校生の社会参画について

03

**問** 高校生でも使えるデマンドバス学割など移動手段の検討について、市の考えは。

**答** 市の公共交通サービスは、コーちゃんバス、コーちゃんタクシー、現在実証実験中の企業シャトル BaaS の3つである。コーちゃんバスは、一部の地域で、小学生や高校生の通学に利用されている。高校生の学割は、「大人」の通学定期があり「往復」・「片道」の設定がある。今後も、公共交通の情報発信の充実、利用者の実情や要望を受けとめ対応していきたいと考えている。

**問** Instagram など若い世代への更なる湖西市の情報発信について、市の考えは。

**答** 市の公式 Instagram は、市外に住む湖西市出身者などの若い世代に向けて、市の魅力や移住定住インセンティブなどの情報を届け、湖西市の暮らしに興味を持っていただく媒体として位置付けている。現在は週2回、グルメ、風景・花、余暇、結婚・出産・住居などの情報を発信しており、今後も、投稿ごとの数値管理、分析を行いながらターゲット層のニーズに寄り添えるよう運用していく。



楠 浩幸 議員

## 「育児・介護休業法」改正への対応について、男性参画応援の視点から

**問** 基礎自治体でも男女共同参画の観点から、積極的に周知すべきと思うが、どのように支援する考えか。

**答** 市では、育児・介護休業法の改正について、市のウェブサイト、市役所だよりへの掲載、企業向けメールマガジンへの配信のほか、8月24日に開催した企業経営者・人事労務担当者向けのダイバーシティ・マネジメントセミナーにおいて周知を行った。今後は、男女共同参画の観点からも、市内企業へ、意識の醸成を図るための働きかけを行っていききたいと考えている。

**問** 制度に精通した職員の育成が不可欠と思うが、対策は。

**答** 男女共同参画に限らず、各所属において業務に関する専門知識を備えて、企業や市民の皆様に対しより質の高い行政サービスを提供することが職員に求められている。研修の活用などによるスペシャリストの育成とあわせ、「さんかくリーダー」を各所属で一人ずつ選任し、職場全体における男女共同参画に関する意識の底上げを図っていく。



福永 桂子 議員

## 市立湖西病院の病院経営について

05

**問** 直近6年間の決算額の推移表を決算付属書類に追加し、経営改善に活用できないか。

**答** 直近の経営状況の推移は、9月議会において配布される湖西市公営企業会計決算審査意見書に記載されているので、改めて決算付属書類に追加する予定はない。経営改善を図る上で、経営の推移、状況把握と活用は重要なものと認識しているので、策定を予定している「市立湖西病院経営強化プラン」において、今後の展開の参考にしながら、更なる経営改善に努める。

**問** コンサル主導の病院経営システムを導入してはどうか。

**答** 総合診療医しょうへいの招聘や地域包括ケア病床の拡大、在宅医療の強化など、地域に必要な医療を提供しつつ、持続可能な医療体制の確保に努めていきたい。医療機関の原価計算やコンサルタントの導入は経営改善に向けた有効な手段であることは承知しているので、費用対効果を踏まえながら、来年度策定を予定している「市立湖西病院経営強化プラン」において検討したい。



中村 博行 議員

## 障害福祉施策について

**問** 医療的ケア児に対する関連分野の支援を調整するコーディネーター配置の現状、方針は。

**答** 現在コーディネーターは配置できておらず、配置に向けて養成研修修了者や医療的ケア児の保護者の意見を伺いながら、具体的な活動方法について検討を進めている。コーディネーターには個々の医療的ケア児への支援のほか、支援経験の不足する相談支援専門員へのアドバイスなどの役割もあり、医療的ケア児へのサービスが不足している当市においてコーディネーター配置は必要と認識している。今年度から医療的ケア児の保護者と福祉サービス事業所から課題の聞き取りを行い、令和6年度中の設置を目標に準備を進める。

**問** 障害者支援協議会の活動状況や行政との連携は。

**答** 協議会は市内の障害者(児)の関係者や事業者などで構成し、市と障害者相談支援事業所みなづきが事務局を担っている。また、市内の相談支援事業所5事業所で構成する相談支援連絡会や専門部会などを設置している。部会ではさまざまな機関が参加できるような形となっており、現在は事業所ガイドブック作成を主に活動していただいている。

**その他の質問**…湖西市史総合年表の発行について



神谷 里枝 議員

## 市内公共施設に設置されている自動販売機の管理運営について

**問** 公共施設における自動販売機に係る利益は、市の収入として市民のために使うべきと考えるが、市の考えは。

**答** 自動販売機を市が直接設置すれば収益は市の事業の財源とすることができる。これまで公共施設に自動販売機を設置している各団体においては各自の運営財源としてきた経緯もあるため、直ちに全てを市が直接設置する方向に転換することは困難だと考えるが、今後も税収の大幅な増加は見込めない中、貴重な財源の確保策として研究していく。

**問** 市が直接自動販売機業者と契約し管理すべきと考えるが、市の考えは。

**答** 自動販売機設置による収益は市のみならず各団体においても貴重な財源として考えられる。一方で、現在は各施設により設置に関する取り扱いに差があるため、県や他市町の状況などを研究し、市としての統一した方針を考えていく。



菅沼 淳 議員

## 湖西市都市計画の内容と進捗について(都市計画マスタープラン・立地適正化計画)

**問** 市街化区域内の土地利用は、都市計画で定める用途地域を基本として住宅建設や都市施設の建設が許可されることと考えてよいか。

**答** それぞれの用途地域に適合した建物であれば、立地適正化計画で定める各区域の内外に関わらず、建築を行うことは可能となる。

**問** 改訂する都市計画マスタープランにおけるまちづくりの方向性や立地適正化計画における新居地区の課題は。

**答** 今年度全体構想を作成し、令和5年度に地域別構想の作成に入る予定。新

居町駅周辺は市内5つに区分した地域のうち東部地域に含まれる。現在のマスタープランにおける地域目標は、水辺環境や自然観光資源を活用した賑わいあるまち、自然環境への備えが充実しコンパクトで利便性の高いまち、既存産業の維持発展と新たな産業立地による活力あるまちで、これらの方針に基づきまちづくりを進めている。津波による浸水が広範囲で想定されるため、立地適正化計画では都市機能誘導区域や居住誘導区域に含めないこととなっている。今後、令和5年度策定予定の「津波防災地域づくり推進計画」に基づき、防潮堤の整備状況を勘案しながら見直しがありうると考える。



高柳 達弥 議員

## 湖西市の農業の持続的な発展に向けて

**問** 農村環境の保全のために、地元NPO法人などとのコラボレーションを考えているか。

**答** 農振農用地区域を中心とした区域内の道水路などの農業用施設の維持管理や景観維持のための活動に対して、多面的機能支払交付金を交付している。現在、新所前向地域においてNPO法人と耕作組合による共同活動組織が交付金を活用し、道路、ため池の草刈り、ビオトープの整備など、農村環境の保全に貢献していただいている。今後も地元NPO法人と農業者が連携し、農村環境の保全に資する活動を支援していきたい。

**問** 畜産臭気対策チームの持続と今後のより高い技術力を発揮できるか。

**答** 令和3年度より畜産臭気対策チームを部局横断的に組織し、臭気の測定や分析など、継続的に畜産臭気対策に取り組んでいる。今年度からは市内養豚事業者への導入・横展開も見据え、中小家畜研究センター、次亜塩素酸水生成器メーカー、市内企業とも連携し、臭気対策と生産性の向上を合わせた新たな設備について検討を行っている。



滝本 幸夫 議員

10



佐原 佳美 議員

## 令和5年度末閉園予定の市立新所幼稚園の利活用について

**問** 施設の利点を生かしたインクルーシブ型の子育て支援施設にしてはいかがか。

**答** 施設の利用は全てのお子さんを対象とするものであることから「インクルーシブ型の子育て支援施設」であると考え、さまざまな考え方がある中で、例えば医師の指示に基づく医療的な訓練などの実施や、それらに必要な設備の詳細については関係部門間の連携によって研究・検討しながら、できること、必要なものを付加していくことは必要と考える。

インクルーシブ型施設…障害の有無にかかわらず誰でも利用できる施設。

## 産婦人科医院誘致助成事業の対象事業の拡充について

**問** 「湖西市産婦人科医院誘致補助金」事業を見直し、産前産後ケア施設を誘致してはいかがか。

**答** 現状、市内で出産できない状況だが、産前産後における子育てへの安心感が得られる施設は必要だと考えるため、ケアの充実に向け制度改正を含めて検討している。今後、ニーズも踏まえながら市内でも宿泊型・デイサービス型が受けられるよう、制度設計も含め既存施設の活用や誘致、補助金の機能強化などを考えていきたい。

その他の質問…市庁舎および市公共施設男性トイレへのサニタリーボックス（汚物入れ）設置について

## 旧統一教会関連団体への対応について

**問** 集会への出席やメッセージ・祝電・動画などを送る、寄付をする・受ける、選挙の手伝いを受けたことがあるか。

**答** 関連団体の設立総会にビデオメッセージを送ったことはあるが、集会への出席や祝電を送ったことはない。寄付および関連団体の寄付を受けたことはなく、選挙の手伝いを受けたこともない。

定例会後に新型コロナウイルスこさい(531)助け合い基金に対して、令和3年10月7日付で宗教法人世界平和統一家庭連合浜松家庭教会から寄付金を受領していたことが判明したため、市として令和4年9月30日に公表をしております。

## 少子化対策としての学校給食の無償化について

**問** 自治体の学校給食無償化の流れについて市としてどう捉えているか。

**答** 学校給食法に、給食の実施に必要な施設、運営および調理に係る費用は学校の設置者が負担し、食材に係る費用は保護者が負担するものと規定されている。学校給食無償化は保護者負担の軽減になり、子育て世帯への支援として有効な施策の一つである。少子化問題に伴い、今後も無償化や支援の方向に行く自治体は増えていくものと考えている。



三上 元 議員

## 今後の市のコロナ対策は

**問** 家庭内感染を防ぐため、感染症状が出ない子どもや若い人の検査が必要では。

**答** 感染に不安がある無症状の方の無料検査を県が薬局等で実施している。発熱やかぜ症状など軽度の症状がある18歳から39歳の方には、8月18日より県と市共同で抗原定性検査キットを無料で配布しており、希望者は市ウェブサイトから申し込みできる。家庭内感染を防ぐには、こまめなうがい手洗い、消毒、マスクの着用、3密の回避、室内の換気の徹底、感染拡大地域への不要・不急の外出を控えるなど、引き続き基本的な感染防止対策の徹底をお願いしたい。

## 災害時における要支援者への対応について

**問** 大津波警報が出された時、自治会や自主防災会は要支援者に対してどうすればよいか。

**答** 湖西市津波避難計画には、自主防災会は要支援者の現状把握に努め、「自らの地域は皆で守る」という「共助」による避難行動の支援の啓発をすることになっている。地域の皆様には災害時には自らの身の安全を確保しつつ、要支援者への配慮をお願いしたい。市は要支援者の避難支援を円滑かつ迅速に実施するため、津波浸水区域である橋本自治会と西浜名自治会をモデル地区とし、個別避難計画の作成を地域と協力して進めていく。



荻野 利明 議員

## 精神障害者通院等交通費助成等について

**問** 精神障害者にも、重度心身障害者タクシー料金助成制度を適用できないか。

**答** 身体、知的、精神の3障害それぞれの障害特性に対応した支援が必要である。特に、移動手段の確保は重要である。精神障害者の方に重度心身障害者タクシー料金助成制度を適用した場合、自動車税減免を受けている方は助成対象外となるなどデメリットもある。どのような支援制度がいいか近隣市町の取組状況を参考に前向きに研究していく。

**問** 湖西市在宅ねたきり高齢者等紙オムツ購入費助成事業のネーミング変更と周知の考えは。

**答** 制度名に対し抵抗感のある方がいること、障害者(児)が制度の対象であることがわかりにくいと、認知しやすい制度名に改めていく。また、周知については、現在実施している手帳交付時などの窓口での説明の他、対象が3歳以上の障害手帳所持者のため、母子保健事業の3歳児健診や教室での案内や、広報紙への掲載、湖西市公式LINEなどSNSによる情報発信に努めていく。



土屋 和幸 議員

## 湖西市制20周年時埋設タイムカプセル収納品贈呈式

令和4年8月20日(土)の第27回おいでん祭において、タイムカプセル収納品の贈呈式が行われました。市議会が当時埋設したものを紹介します。

- 当時の議会だより
- 平成4年12月定例会が記録されたカセットテープ、写真

湖西市制20周年マスコットキャラクターとして誕生した“コーちゃん”は、現在と全く変わりありませんが、カセットテープについては時代を感じますね。



# 市議会「広報」に関する Web アンケート

市議会広報のより一層の充実を図るため、湖西市議会としては初めてとなる Web アンケートを実施しましたので、その結果といただいたご意見に対する取組状況をお知らせいたします。

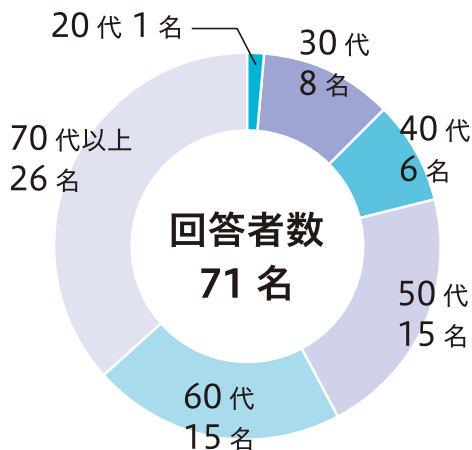


## <実施方法>

Web アンケート

## <実施期間>

R4.3.17 ~ 4.17



## <結果>

アンケート結果の詳細については、こちらからご覧ください。



## <取組状況>

アンケートのご意見(一部抜粋)	取組状況	
SNS など、若い方達が見やすく	市公式 LINE により、定例会の開催案内などの情報発信を開始	
YouTube 配信などで、議員と市民の距離を近づけてもらいたい	議会の P R 動画の配信を開始 (R4.5.30) 第1回目は、議場の紹介動画	
どんな内容でもいいので、議員全員の一言アピールを	議会だより No.200「市制50周年記念号 (R4.7.31 発行)」の一環として、議員メッセージ動画の配信を実施	
「小学生にも分かる議会」のように議会だよりで紹介してもらえると、親子で読みやすい	議会だより No.200の中で、議会の会議の流れを紹介する記事を掲載	

市議会に少しでも関心を持ってもらえるように、いただいたご意見を参考にしながら今後も積極的な広報に取り組んでまいります。

# あの質問、 どうなったの？

過去の定例会で行われた一般質問が、その後どう取り組まれたのかを追跡します。

議会だより No.198 掲載

(令和4年1月31日付発行)

## 骨髄ドナー登録推進について

**問** 市のドナー支援制度を創設する予定は。

**答** 県が制度導入を前向きに検討しているとのことなので、県に合わせた創設を考えている。

## 追跡してみると



県による補助金交付要綱の制定を受け、湖西市においても令和4年4月1日以後に行われる骨髄などの提供について支援制度が創設されました。ドナー本人には1日(通院・入院など)につき2万円(※)、ドナーが勤務する事業所には1日(ドナーの通院・入院など)につき1万円(※)を補助する制度で、骨髄ドナーを支援する取り組みが着実に進められています。

※それぞれ7日を限度



## 市議会からのお知らせ

### 「ぎかいのひろば」を スマホでも!

マチイロ を使えば、

「ぎかいのひろば」をスマートフォンで読むことができます。  
(※別途通信料が掛かります。)



利用方法

- ① 右のコードからアクセス
- ② 「マチイロ」をダウンロード
- ③ 個人設定→お住いの地域を「湖西市」に設定



編集委員 (◎は委員長、○は副委員長)

- ◎馬場 衛 ○土屋 和幸 柴田 一雄 滝本 幸夫  
三上 元 福永 桂子 竹内 祐子 中村 博行

## 12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29	30 10:00～ 本会議第1日	12/1	2	3
4	5	6 10:00～ 本会議第2日 (一般質問)	7 10:00～ 本会議第3日 (一般質問)	8 10:00～ 本会議第4日 (一般質問)	9	10
11	12	13	14 10:00～ 本会議第5日	15 10:00～ 総務経済 委員会	16	17
18	19 10:00～ 福祉教育 委員会	20 10:00～ 建設環境 委員会	21	22	23 10:00～ 本会議第6日	24
25	26	27	28	29	30	31

予定が変わることもありますので、議会事務局へお問い合わせください。

